

令和4年度全日本卓球選手権ジュニアの部北信予選会

期 日 令和4年8月27日(土)

会 場 南長野運動公園体育館

1 競技上のルールについて

(1) 現行の日本卓球ルールで行う。

- ① サービスは相手に明らかに見えるようにする。
- ② ボールが手のひらから離れたら、すぐにフリーハンドと腕を、ボールとサポートとの間の空間の外に出さなければならない。
- ③ サービスはほぼ垂直に16cm以上投げ上げる。
- ④ ラバーのはみ出し、破損等。
- ⑤ ゲーム間のアドバイスは1分以内とする。
- ⑥ 全試合チェンジエンドを行う。

(2) 感染症対策について

- ① ラケット交換は行わず、相手にラケットとラバーを確認させること。
- ② 飛沫防止のため試合中の大声は慎むこと。
- ③ 試合中、台の上で手を拭いたり、シューズの裏を手で触らないこと。
- ④ 試合前、試合後の握手は行わない。
- ⑤ 試合後、各台に配布の紙タオルで卓球台の天板を乾拭きし、アルコールを噴射して、ボールを消毒する。
- ⑥ タオルかけは使用せず、選手1人に対して1枚のビニール袋を配布する。

(3) ゼッケンについて

今年度の日本卓球協会のゼッケンを着用すること。

(4) 使用球について

バタフライ R40+を使用する。

(5) ベンチアドバイザーについて

今大会はベスト16決定戦より認める。

※協力委員の先生方もベンチに入る場合は遠慮なくお申し出ください。

(6) 補助員について

【中野西、須坂創成、長野商業、長野工業、長野俊英、長野清泉】

2 試合進行について

(1) 卓球台は28台(7台×4列)設置する。

(2) 試合の流れ

- ① 第1試合はトーナメントの試合順でコートに入る。
- ② 以降はコールを聞き選手集合所に集合し、対戦カードを見て対戦相手を探す。
- ③ 選手集合所で手指消毒をした後、指示されたコート(勝者誘導)へ移動する。
- ④ 試合を行う。
- ⑤ 試合後の動き
 - <勝者>
 - i マスク・手袋をする。
 - ii 対戦表を本部に持って行く(結果を確認する)
 - iii 次の選手2人をコートに連れていく。
 - <敗者>
 - i マスク・手袋をする。
 - ii 消毒作業
 - iii 審判をする。試合結果を記入し、勝者に対戦表を渡す。

3 県大会について

(1) 出 場 枠…男子96名、女子48名

(2) 日 程…9月11日(日)【ホワイトリング】

(3) 大会要項…長野県高体連ホームページ参照

(4) 申し込み…出場権を得たチームの監督は参加料 1,000 円を添えて申し込み手続きを行う

4 その他連絡

- (1) 昼食をとる場合は周囲の人と 1 m 以上の距離をとり、対面を避け、会話をしない。
- (2) 競技時以外は必ず全員マスク着用、こまめな手洗い、手指消毒を徹底する。
- (3) 貴重品の管理、ごみの持ち帰り、忘れ物をしないことの徹底をお願いします。